

▲ 上町台地の歴史と未来創造シンポジウム2017〈第2部:音楽絵巻〉

創作講談とバロックの音楽絵巻

# 四天王寺新伝

～失われた1000年の大坂点描～

11/24(金)  
17:30～18:30

聖徳太子の創建から大坂本願寺寺内町までの1000年間、四天王寺一帯は門前町として大いに賑わい、7000軒の人家が集積し、京都に次ぐ全国第2位の大都市でした。知られざる中世の上町台地にスポットを当てた「創作講談とバロック音楽のコラボによる音楽絵巻」を中野順哉の脚本・演出で本邦初公演。聖徳太子の創建秘話から「四箇院の制」の創造、そして西方浄土を願い集まる人々、「弱法師」など芸能の流れも踏まえた壮大な物語として蘇ります。

✿ 講談：旭堂南左衛門



1976年三代目旭堂南左衛門に入門。91年「咲やこの花賞」受賞、2005年上方講談協会会長。中野順哉との創作講談は処女作「ヘンデル一代記」にはじまり「講談:源平盛衰記・熊野古道編」「講談モーツァルトVSベートーヴェン」ほか100作以上にのぼる。

✿ 音楽：テレマン・アンサンブル



1963年、延原武春によって創設された、バロックからベートーヴェンまでを専門とする室内楽団。77年「文化庁芸術祭優秀賞」、86年「第17回サントリー音楽賞」(関西初)など、受賞多数。バイオリンの浅井咲乃ほかコアメンバーが出演。

✿ 作・総合プロデュース：中野順哉



作家。2002年より各地の歴史をテーマにした「音楽絵巻」をプロデュース。都市のコミュニティー再生や環境問題の改善、高校生と各国総領事によるシンポジウム開催など活動の幅は広い。雑誌『新潮45』の「歴史再考」では、新しい大阪像を描いた。日本テレマン協会前代表。

会場

四天王寺五智光院〈重要文化財〉

1623年、徳川秀忠により再建。大日如来を中心とする五智如来像を安置。徳川家代々の位牌を納めており、御霊舎(みたまや)ともいわれている



この(第2部:音楽絵巻)に先がけ、当日、13:30～17:00は(第1部:フォーラム)、五智光院の隣にある本坊客殿にて、人類学者・中沢新一氏の講演や北川央氏・高田光雄氏・吉田順一氏がそれぞれ座長となる分科会、パネルディスカッションを開催。定員100人。参加無料。詳細が決まり次第、HP等で改めてご案内します。

- 定員 200名(申込多数の場合は抽選。当選者のみ10月下旬頃にご連絡します)
- 参加費 1,000円(当日会場にて現金支払)
- 申込方法 下記のいずれかの方法で、必要事項を明記の上お申し込みください。一度の申込で4名まで申込可能です(複数イベントの申込可)。全員のお名前と、代表者のご職業、ご住所・連絡先(電話番号、E-mail)を明記して
  - ①WEBサイト(<https://uemachidaichi.com/>)の応募フォーム
  - ②E-mail [info@uemachidaichi.com](mailto:info@uemachidaichi.com)
  - ③FAX 06-6484-9503
 のいずれかでご応募ください。締切=10月23日(月)
- 主催 上町台地の歴史と未来展望実行委員会  
(助成:アーツサポート関西「上町台地の歴史と未来創造のための文化活動寄金助成」)
- 共催 和宗総本山 四天王寺
- 後援 大阪商工会議所ほか



<https://uemachidaichi.com/>

上町台地の歴史と未来展望実行委員会